

野迫川村

野迫川村が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

野迫川村では1階が保育所、2階が中学校と複合型の施設になっている。隣の建物（小学校）ともわたり廊下でつながっており、村の1箇所ですべての施設を運営している。

子どもたちを村の宝として温かく育むとともに、次代の村を担う人材として健やかな成長を支援する。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲47.8% (▲6.2%)	37位	▲23.6% (▲2.1%)	39位	▲24.2% (▲4.1%)	33位

②合計特殊出生率

H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減	③有配偶出生率 (15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
			H27年	順位
1.26 (1.29)	19位	+0.05 (+0.06)	71.6 (74.4)	19位

④出生数(人)

H30年	⑤年少人口割合(15歳未満)		
	H30年10月	順位	対25年10月増減
0 (8,947)	4.7% (12.0%)	37位	▲1.5%ポイント (▲0.7%ポイント)

⑥子育て世代割合(25～44歳)

H30年10月	順位	対25年10月増減
17.1% (20.7%)	22位	+1.0%ポイント (▲3.8%ポイント)

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 保育園（園児6名）、小学校（児童7名）、中学校（生徒3名）の生徒数等が少ないため、村外の子どもたちと交流する機会が必要。
- ② 身近に子育てをしている人が少ないため、保護者が抱く孤独感など、不安を解消することが課題。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① 「地域の子どもは地域で育てる」という考えのもと、子育て家庭が安心して育てることができるよう支援する。
- ② 施策は「子育て世帯の経済的支援」「異文化に触れてもらう(中学生のグアム語学研修など)」「保育園児・小学生・中学生による異年齢、他世代との交流」などを推進。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、「保育料の無償化」、「学童保育の無料化」、「給食費無料化(保育園～中学校)」、「18歳までの医療費無償化」などを実施。
- ② 三郷町とのICT教育の連携(全ての児童生徒にタブレットを配布)

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 幅広い年齢層の地域住民が、ゲートボールやフットサル、和太鼓などを指導。
- ② 自分の住んでいる村を誇りに思い、愛着やふるさとの郷土愛を育むためにも、中学生が参画する「子ども未来議会」を開催し、子ども目線での村づくりを推進。

詳しくは 野迫川村ホームページ

<https://www.vill.nosegawa.nara.jp/top/life/education/index.html>